

(小規模企業景気動向調査)

# 三重の景況

No.84

(令和6年1月～6月期)

三重県商工会議所連合会  
桑名商工会議所  
四日市商工会議所  
鈴鹿商工会議所  
亀山商工会議所  
津商工会議所  
松阪商工会議所  
伊勢商工会議所  
鳥羽商工会議所  
上野商工会議所  
名張商工会議所  
尾鷲商工会議所  
熊野商工会議所

## はじめに（総括）

県内 12 商工会議所では、地区の小規模企業を対象とした景況調査を年 2 回実施しています。このたび令和 6 年上期の調査結果がまとまりましたのでご報告します。

三重県内の景況を示す指標である「現状」の D I 値は、▲25.8 と令和 5 年下期に比べ 6.7 ポイント悪化となりました。

業種別の「現状」D I 値は、製造業▲37.4（前期▲24.0）、建設業▲15.6（前期▲15.9）、卸売業▲25.4（前期▲11.7）、小売業▲48.5（前期▲37.9）、飲食業▲8.0（前期▲1.2）、サービス業▲19.1（前期▲14.6）、交通運輸業▲26.3（前期▲28.0）、その他の業種▲12.0（前期▲4.4）と、交通運輸事業で改善、建設業はほぼ横ばい、製造業・卸売業・小売業・飲食業・サービス業・その他の業種は悪化となりました。

地区別の「現状」D I 値は、北勢地区▲24.2（前期▲18.3）、中勢地区▲26.8（前期▲21.9）、南勢地区▲15.1（前期▲5.3）、伊賀地区▲31.0（前期▲26.8）、東紀州地区▲46.4（前期▲37.4）となり、すべての地区で悪化しました。

また、「今後の見通し」の D I 値は▲27.9 となり、現状の D I 値（▲25.8）と比較すると 2.1 ポイントの悪化を見通しています。業種別では、製造業・サービス業・交通運輸業で改善、小売業はほぼ横ばい、建設業・卸売業・飲食業・その他業種では悪化の見通しとなり、地区別では、東紀州地区で改善、北勢地区でほぼ横ばい、それ以外の地区で悪化の見通しとなりました。

「売上状況」「利益状況」はすべての地区で悪化、「販売条件」では、中勢地区と伊賀地区でほぼ横ばいであったが、その他の地区では悪化、「仕入条件」は中勢地区と伊賀地区で改善となったものの、その他の地区では悪化となりました。

景気の方角性を示す「設備投資」の項目は、「行った」とした割合が全体で 17.9%（前期 18.6%）と 0.7 ポイント減少し、「予定している」とした割合は、全体で 13.6%（前期 14.4%）と前期と比べ 0.8 ポイント減少となりました。

「借入の状況（難易度）」の D I 値は、全体で 3.2（前期 1.6）と 1.6 ポイント改善し、「借入を予定している」と回答した企業の割合は 10.9%（前期 12.6%）、「使途予定」については『運転資金』の割合は 63.1%（前期 62.8%）、『設備資金』の割合は 33.9%（前期 32.7%）となりました。

以上が本調査結果の概要です。本調査報告書が皆様の今後の企業経営の参考や小規模企業に対する皆様の更なる理解に資することになれば幸いに存じます。

最後に本調査の実施、作成にあたりましては、調査対象企業をはじめ関係各位の皆様にご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

令和 6 年 8 月

三重県商工会議所連合会

# も く じ

## ( 調 査 内 容 )

・ 調査要領	1
1. 現状と今後の見通し	4
現況D I 値の推移	6
2. 売上状況	8
3. 今後の売上見通し	8
4. 利益状況	9
5. 販売条件	10
6. 仕入条件	10
7. 設備投資	11
8. 資金繰り状況と今後の見通し	12
9. 借入状況	13
借入難易度D I 値の推移	14
10. 借入予定	15
11. 借入希望先	15
12. 借入金の使途予定	16
13. 経営上の問題点	16
・ 県内商工会議所地区の景況	18
・ 景況調査票	

# 「三重の景況」調査要領

## 1. 調査目的

当調査は、三重県商工会議所連合会と県内 12 商工会議所〔\*1〕が、小規模企業〔\*2〕の動向を合同で調査することにより、県内小規模企業の景況把握を、地区別〔\*3〕に行い、合わせて各会議所地区の景況を調査することにより、各商工会議所の事業活動の参考とすることを目的とする。

### 〔\*1〕 県内商工会議所

桑 名商工会議所	中小企業相談所
四日市商工会議所	中小企業相談所
鈴 鹿商工会議所	中小企業相談所
亀 山商工会議所	中小企業相談所
津 商工会議所	中小企業相談所
松 阪商工会議所	中小企業相談所
伊 勢商工会議所	中小企業相談所
鳥 羽商工会議所	中小企業相談所
上 野商工会議所	中小企業相談所
名 張商工会議所	中小企業相談所
尾 鷲商工会議所	中小企業相談所
熊 野商工会議所	中小企業相談所

### 〔\*2〕 小規模企業（中小企業基本法による）

卸売・小売・サービス業は従業員 5 人以下（宿泊業・娯楽業は 20 人以下）、  
製造・建設・その他の業種については 20 人以下。  
（会社の役員・家族従業員・パートを除く）

### 〔\*3〕 県内各地区は下記のとおり

北勢地区……桑名・四日市・鈴鹿・亀山  
中勢地区……津・松阪  
南勢地区……伊勢・鳥羽  
伊賀地区……上野・名張  
東紀州地区…尾鷲・熊野

## 2. 調査対象・回答状況

県内 12 商工会議所の会員企業中、任意抽出した小規模企業 10,173 事業所を対象とした。回答状況は、回答率 26.6%、回答企業 2,705 事業所であった。

## 3. 調査方法

F A X または郵送方法によるアンケート方式

## 4. 調査期間

令和 6 年 7 月 1 日～7 月 12 日

※ 当調査は、“1 月～6 月期”と“7 月～12 月期”の年 2 回、前年同期比の D I 値による調査を実施している。

## 5. 集計方法

外部委託を行い、一括コンピュータ集計を行った。

## 6. 調査結果の取りまとめ

調査結果の取りまとめについては、松阪・名張・上野の 3 商工会議所が担当した。

なお、各商工会議所地区の景況は当該商工会議所が担当した。

D I 値（ディフュージョン・インデックス）の見方について

D I とは景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、特に言及のない限り、「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

### （注）図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第 2 桁で四捨五入をしているため、合計が 100.0 にならない場合がある。（マイナスは▲表示）

## 業種別・地区別回答状況

単位：企業（ ）：％ 上：業種別構成率 下：地区別構成率

地区		北勢					中勢			南勢			伊賀			東紀州			計	
		桑名	四日市	鈴鹿	亀山		津	松阪		伊勢	鳥羽		上野	名張		尾鷲	熊野			
製造業	食料	54	14	24	11	5	22	5	17	13	7	6	11	8	3	13	9	4	113	
	せんい	11	3	5	3	0	0	0	0	0	0	0	8	6	2	1	1	0	20	
	機械	67	32	20	12	3	10	2	8	8	5	3	6	4	2	2	1	1	93	
	金属製品	78	40	12	17	9	13	4	9	7	3	4	6	6	0	2	2	0	106	
	木材	18	6	5	3	4	14	2	12	6	6	0	3	3	0	15	9	6	56	
	化学	10	4	4	0	2	3	1	2	1	1	0	5	3	2	0	0	0	19	
	窯業	18	0	17	0	1	0	0	0	1	1	0	3	3	0	4	3	1	26	
	印刷出版	10	3	4	1	2	13	7	6	5	5	0	1	0	1	2	1	1	31	
	その他	55	12	25	14	4	9	1	8	12	8	4	12	8	4	6	5	1	94	
	計	321 (21.5) (57.5)	114	116	61	30	84 (20.0) (15.1)	22	62	53 (15.7) (9.5)	36	17	55 (21.3) (9.9)	41	14	45 (23.0) (8.1)	31	14	558 (20.6) (100.0)	
非製造業	建設業	土木工事	91	18	45	24	4	21	9	12	15	8	7	22	14	8	10	6	4	159
		建築工事	177	42	90	36	9	58	22	36	29	23	6	16	12	4	11	7	4	291
		その他	192	31	96	55	10	30	13	17	16	15	1	23	12	11	5	5	0	266
		(小計)	460	91	231	115	23	109	44	65	60	46	14	61	38	23	26	18	8	716
	卸売業	食料	17	7	6	4	0	2	1	1	2	2	0	2	1	1	8	4	4	31
		せんい	9	2	5	1	1	6	4	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	17
		その他	51	13	25	8	5	17	6	11	11	5	6	10	5	5	1	1	0	90
		(小計)	77	22	36	13	6	25	11	14	15	9	6	12	6	6	9	5	4	138
	小売業	せんい	25	11	9	3	2	7	3	4	17	14	3	8	5	3	8	4	4	65
		食料	42	14	19	5	4	15	3	12	10	9	1	9	5	4	12	4	8	88
		日用品	9	6	0	2	1	3	0	3	3	3	0	2	2	0	1	1	0	18
		電気製品	18	6	3	5	4	3	0	3	3	3	0	4	3	1	4	3	1	32
		その他	85	24	25	28	8	40	8	32	24	12	12	24	15	9	20	11	9	193
		(小計)	179	61	56	43	19	68	14	54	57	41	16	47	30	17	45	23	22	396
		飲食業	65	18	20	20	7	20	6	14	54	39	15	14	7	7	20	11	9	173
	サービス業	美容・理容	46	10	16	16	4	3	0	3	9	8	1	6	5	1	8	4	4	72
		ホテル旅館	5	2	2	1	0	6	2	4	20	2	18	2	0	2	8	2	6	41
		自動車整備	36	10	11	7	8	16	2	14	12	10	2	8	5	3	5	2	3	77
		不動産	70	16	46	5	3	16	7	9	6	5	1	8	3	5	3	3	0	103
		その他	117	36	49	23	9	39	13	26	32	27	5	29	19	10	15	6	9	232
		(小計)	274	74	124	52	24	80	24	56	79	52	27	53	32	21	39	17	22	525
	交通運輸業	25	7	8	3	7	20	5	15	3	2	1	5	5	0	4	4	0	57	
計	1080 (72.3) (53.9)	273	475	246	86	322 (76.7) (16.1)	104	218	268 (79.5) (13.4)	189	79	192 (74.4) (9.6)	118	74	143 (73.0) (7.1)	78	65	2005 (74.1) (100.0)		
その他・不明	93 (6.2) (65.5)	21	36	32	4	14 (3.3) (9.9)	14	0	16 (4.7) (11.3)	11	5	11 (4.3) (7.7)	11	0	8 (4.1) (5.6)	5	3	142 (5.2) (100.0)		
合計	1494 (100.0) (55.2)	408	627	339	120	420 (100.0) (15.5)	140	280	337 (100.0) (12.5)	236	101	258 (100.0) (9.5)	170	88	196 (100.0) (7.2)	114	82	2705 (100.0) (100.0)		

# 1. 現状と今後の見通し

## a) 現状

全回答企業 2,705 事業所中、「良い・やや良い」が 17.9%、「悪い・やや悪い」が 43.7%で、D I 値は▲25.8（前期▲19.1）となり、6.7 ポイント悪化した。

業種別の D I 値では、交通運輸業で改善が見られたが、建設業はほぼ横ばい、製造業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業、その他の業種は前回よりも悪化し、製造業▲37.4、建設業▲15.6、卸売業▲25.4、小売業▲48.5、飲食業▲8.0、サービス業▲19.1、交通運輸業▲26.3、その他の業種▲12.0 となった。

地区別の D I 値では、すべての地区で悪化。北勢地区▲24.2、中勢地区▲26.8、南勢地区▲15.1、伊賀地区▲31.0、東紀州地区▲46.4 となった。

図－1 現状について（業種別）

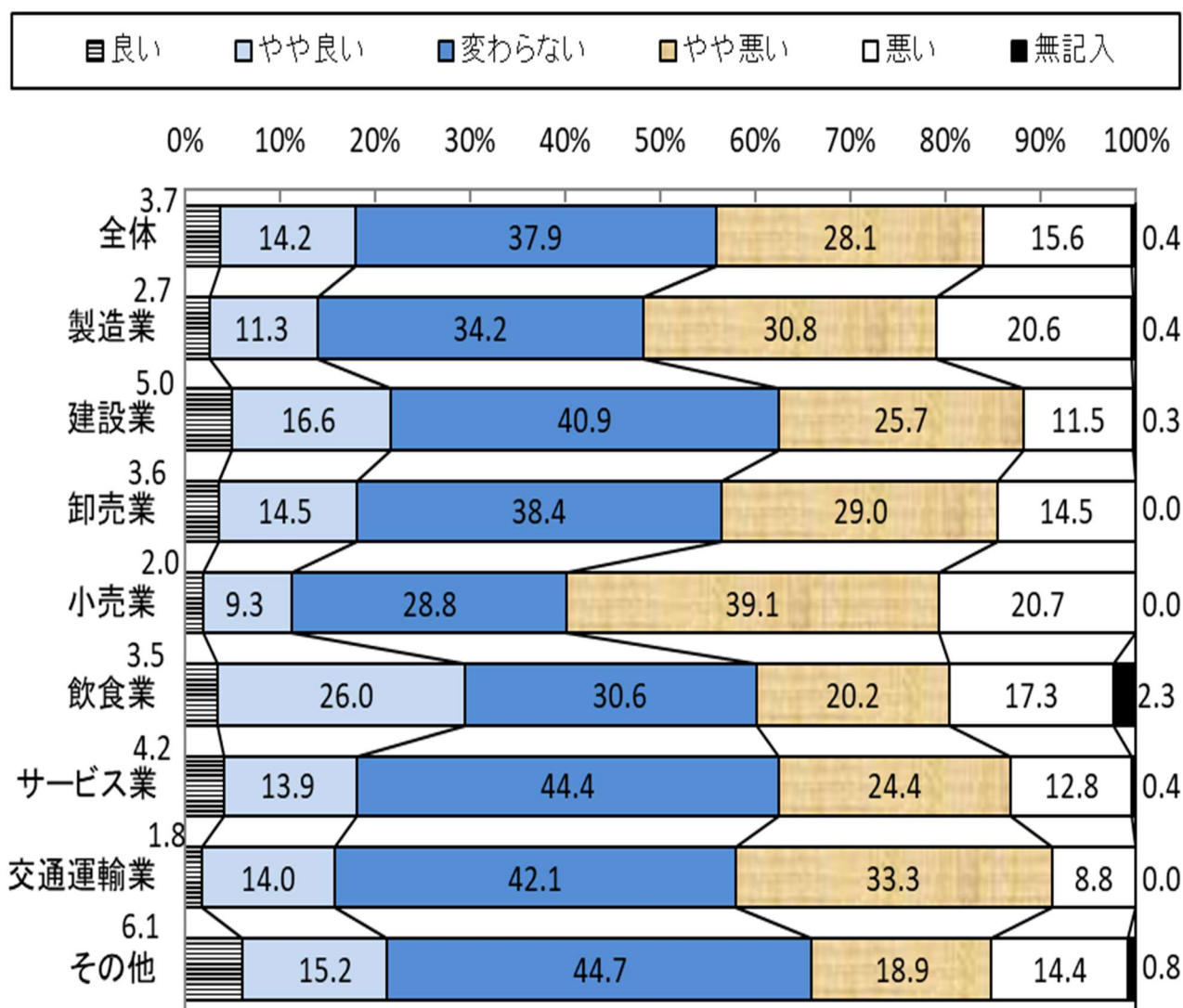


図-2 現状について（全体・地区別）

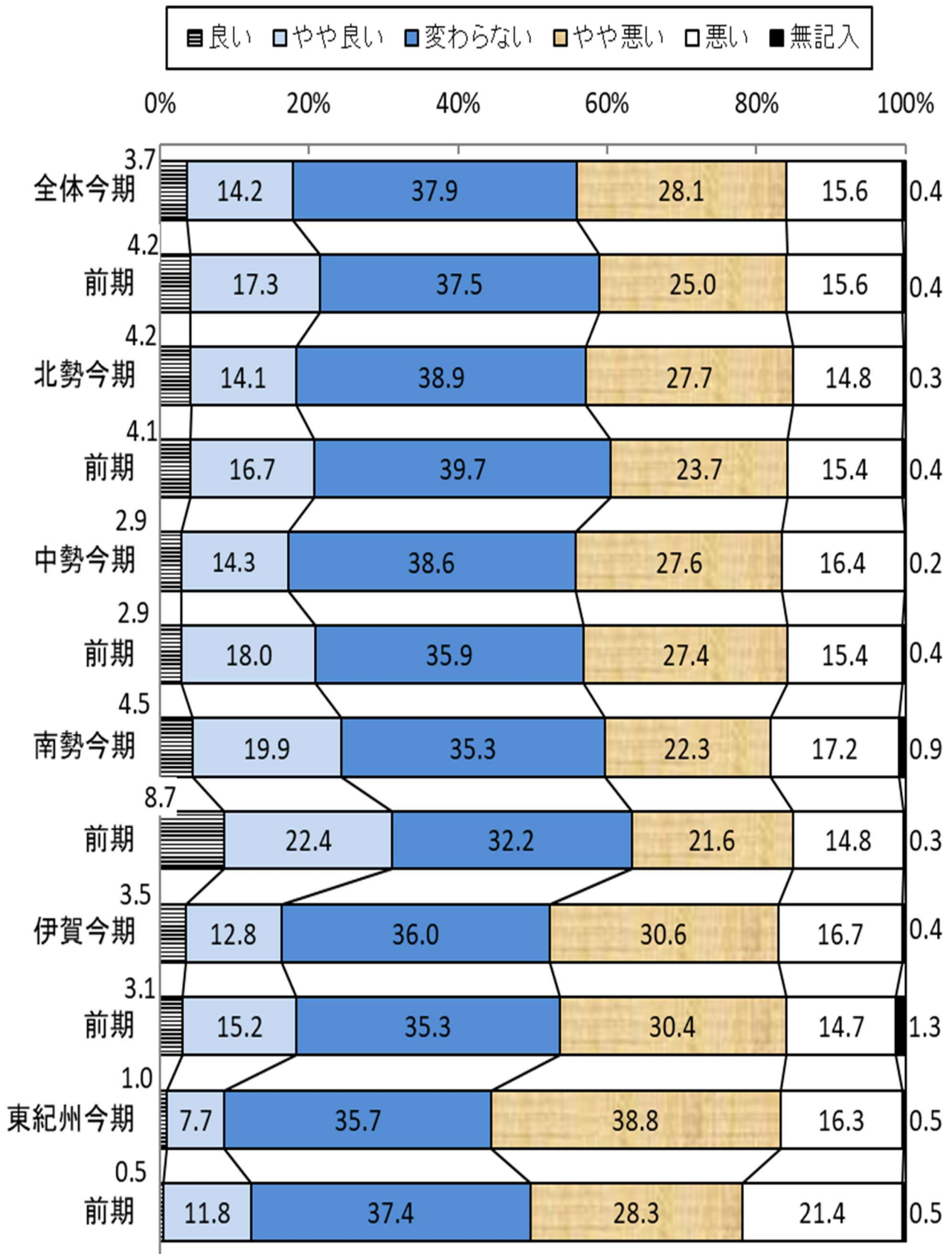
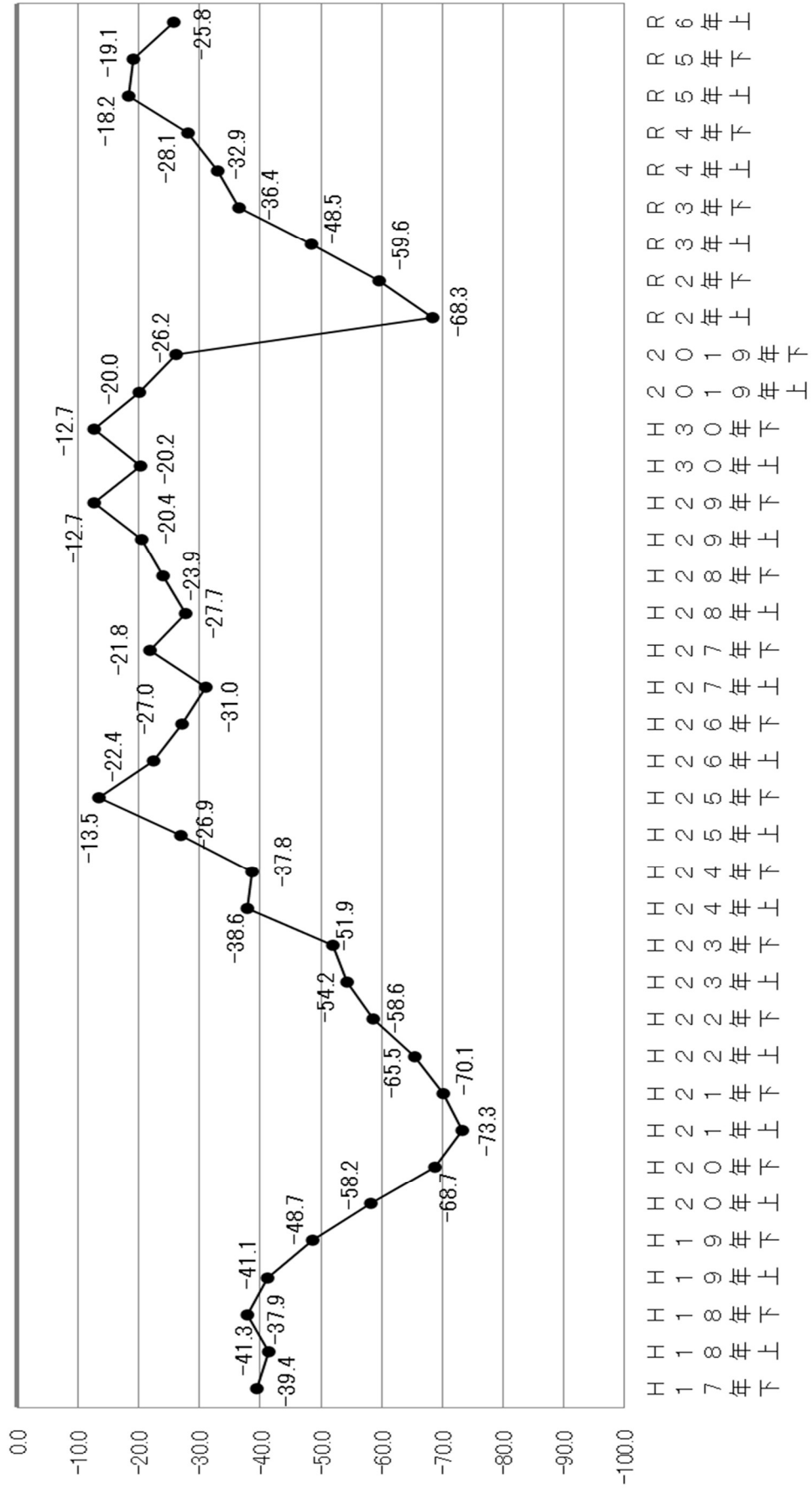




図-3 現況DI値の推移



(注) H17下期分までの値はBSI値を2倍した数値で表示

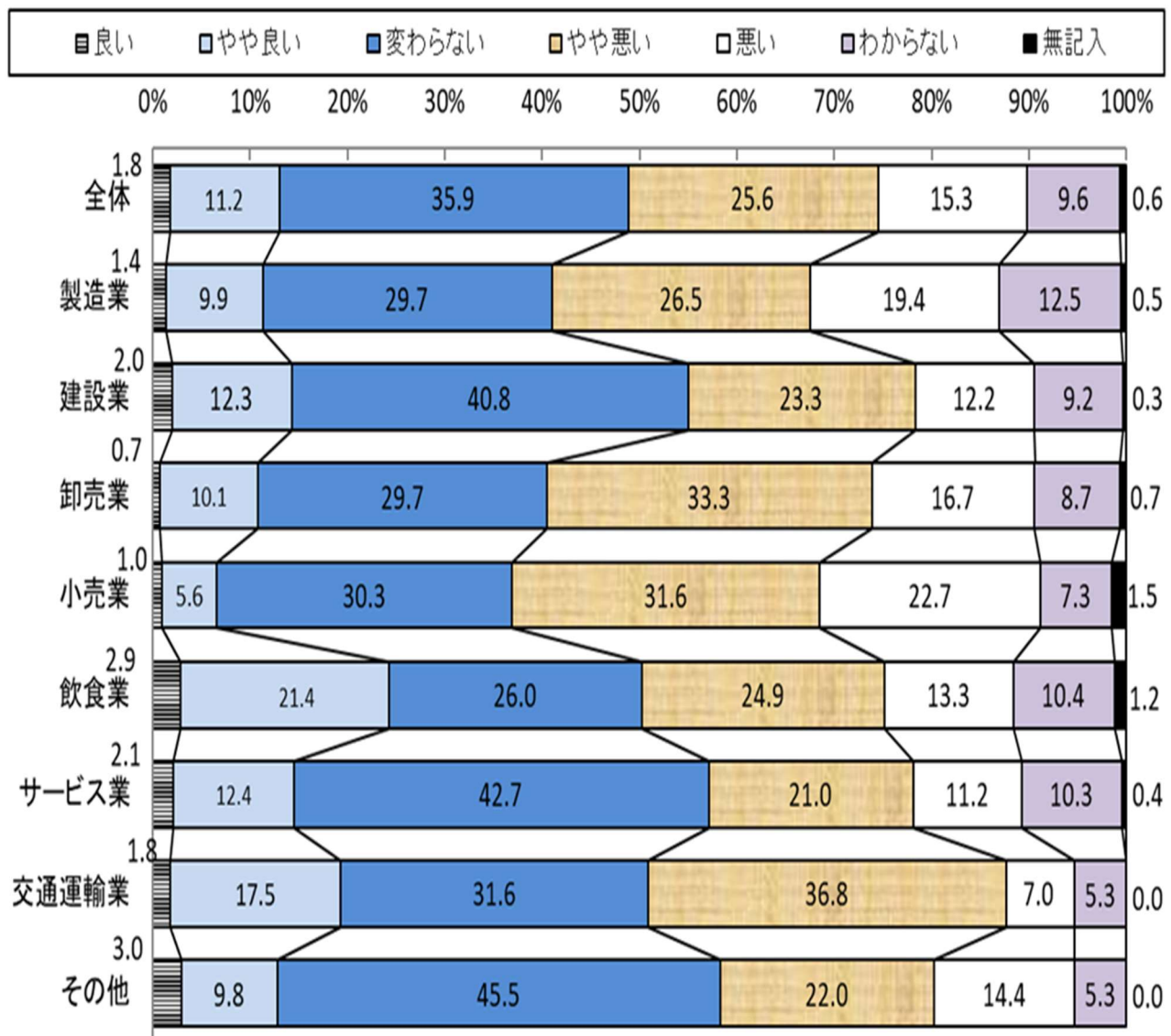
## b) 見通し

全体的見通しでは、「良い・やや良い」が13.0%、「悪い・やや悪い」は40.9%で、D I値は▲27.9（現状D I値▲25.8）となり、2.1ポイント悪化を見通している。

業種別のD I値では、現状と比べ製造業、サービス業、交通運輸業で改善の見通し、小売業でほぼ横ばいの見通し、建設業、卸売業、飲食業、その他の業種で悪化の見通しとなり、製造業▲34.6、建設業▲21.2、卸売業▲39.2、小売業▲47.7、飲食業▲13.9、サービス業▲17.7、交通運輸業▲24.5、その他の業種▲23.6となった。

地区別のD I値では、現状と比べ東紀州地区で改善の見通し、北勢地区でほぼ横ばい、中勢地区、南勢地区、伊賀地区で悪化の見通しとなり、北勢地区▲24.8、中勢地区▲32.9、南勢地区▲18.6、伊賀地区▲40.6、東紀州地区▲40.4となった。

図-4 今後の見通しについて（業種別）

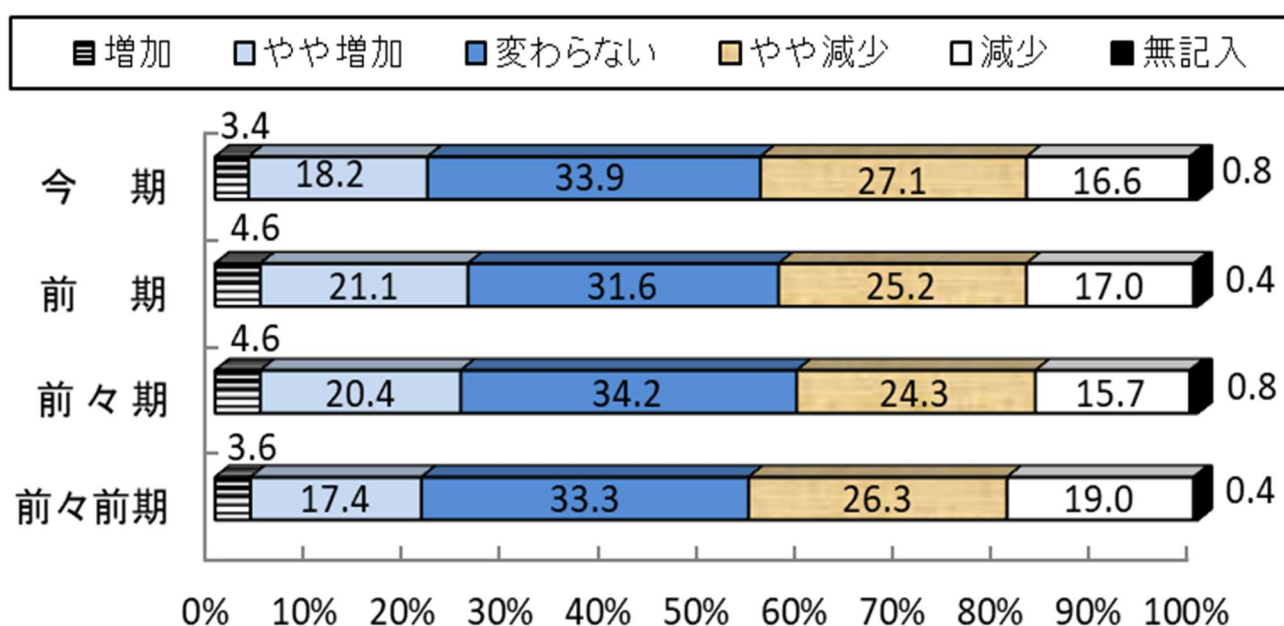


## 2. 売上状況

全体では、「増加・やや増加」が 21.6%（前期 25.7%）、「やや減少・減少」が 43.7%（前期 42.2%）で、D I 値は▲22.1（前期▲16.5）となり、5.6 ポイント悪化した。

業種別の D I 値では、建設業はほぼ横ばいとなり、製造業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業、交通運輸業、その他の業種で悪化。製造業▲33.1、建設業▲14.4、卸売業▲25.4、小売業▲40.4、飲食業▲0.5、サービス業▲16.4、交通運輸業▲19.3、その他の業種▲8.3 となった。地区別の D I 値では、前期と比べすべての地区で悪化。北勢地区▲19.4、中勢地区▲22.6、南勢地区▲17.2、伊賀地区▲26.7、東紀州地区▲43.9 となった。

図-5 売上状況



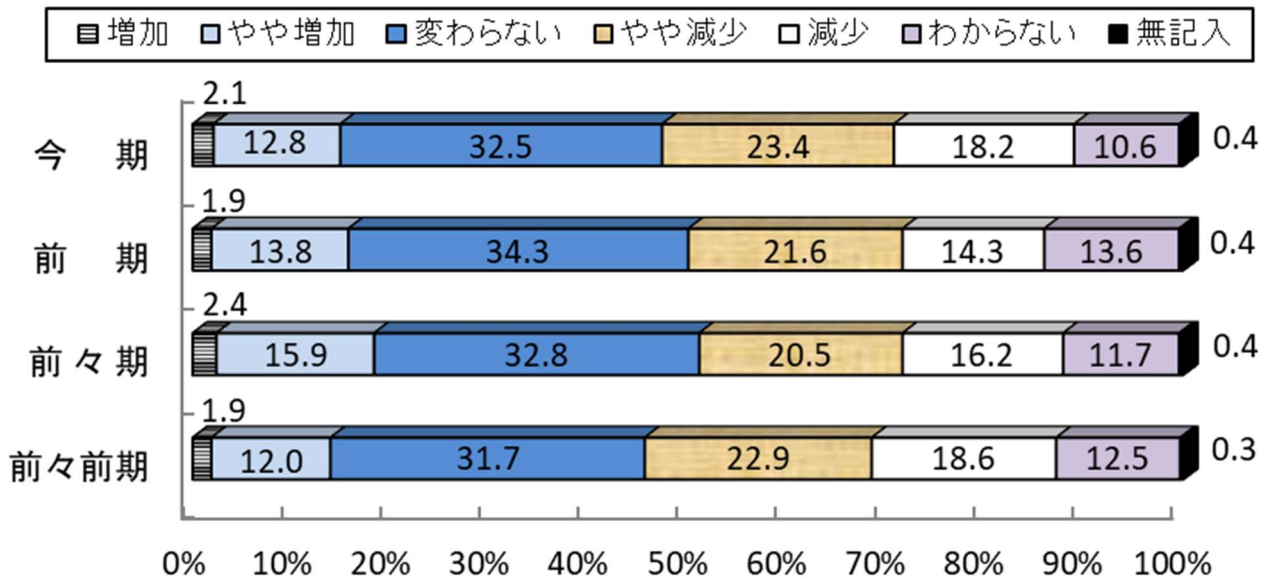
## 3. 今後の売上見通し

全体では、「増加・やや増加」が 14.9%（前期 15.7%）、「やや減少・減少」が 41.6%（前期 35.9%）で、D I 値は▲26.7（現状 D I 値▲22.1）となり、4.6 ポイント悪化を見通している。

業種別の D I 値では、現状と比べ交通運輸業で改善の見通し、製造業でほぼ横ばいの見通し、建設業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業、その他の業種で悪化の見通しとなり、製造業▲32.4、建設業▲22.5、卸売業▲37.6、小売業▲47.3、飲食業▲5.8、サービス業▲17.7、交通運輸業▲12.2、その他の業種▲18.2 となった。

地区別の D I 値では、現状と比べ全ての地区で悪化の見通しとなり、北勢地区▲21.8、中勢地区▲31.8、南勢地区▲23.7、伊賀地区▲32.9、東紀州地区▲49.5 となった。

図-6 売上見通し



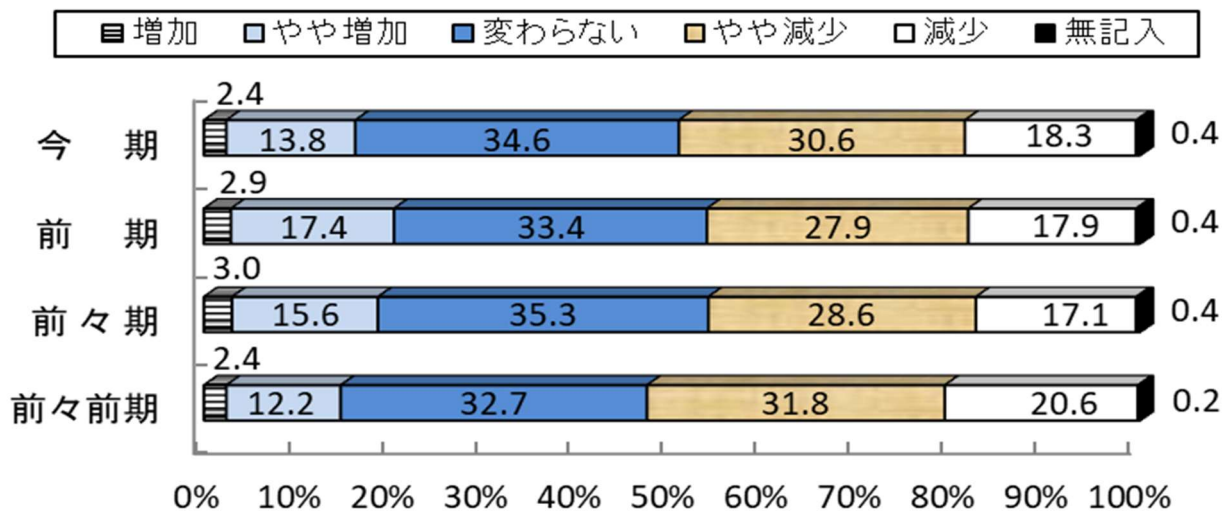
#### 4. 利益状況

全体では、「増加・やや増加」が16.2%（前期20.3%）、「やや減少・減少」が48.9%（前期45.8%）で、D I値は▲32.7（前期▲25.5）となり、7.2ポイント悪化した。

業種別のD I値では、前期と比べ交通運輸業で改善したが、製造業、建設業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業、その他の業種で悪化が見られ、製造業▲43.7、建設業▲25.4、卸売業▲36.2、小売業▲47.7、飲食業▲30.1、サービス業▲22.5、交通運輸業▲33.3、その他の業種▲18.2となった。

地区別のD I値では、前期と比べすべての地区で悪化した。北勢地区▲29.4、中勢地区▲33.8、南勢地区▲27.6、伊賀地区▲40.3、東紀州地区▲54.0となった。

図-7 利益状況



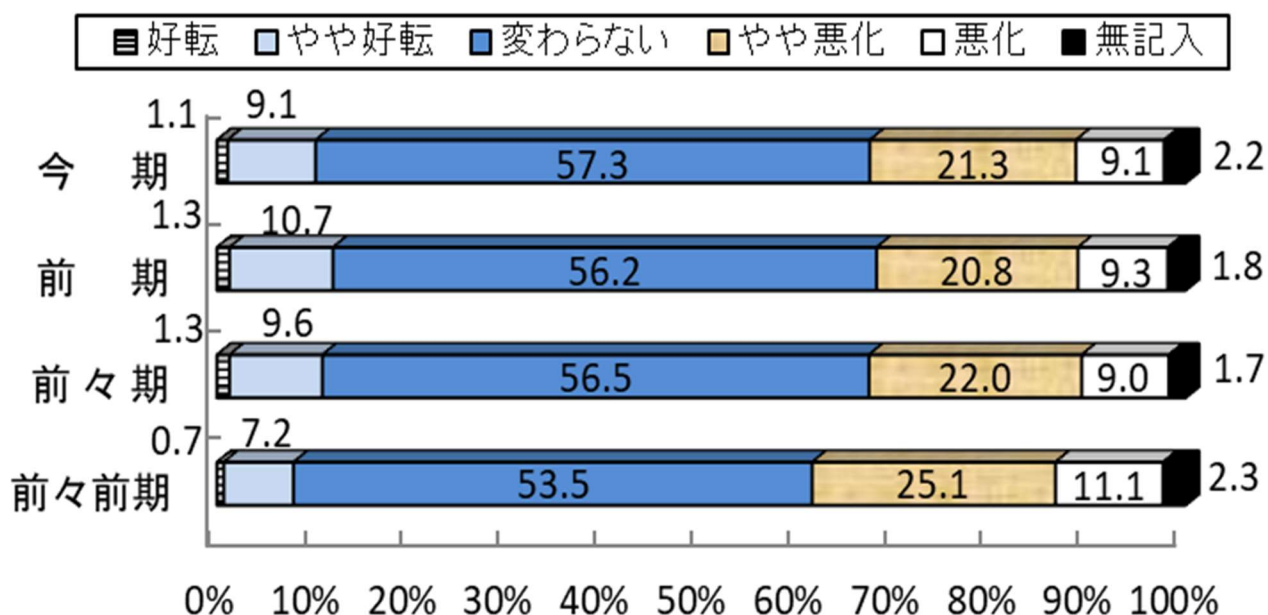
## 5. 販売条件

全体では、「好転・やや好転」が10.2%（前期12.0%）、「やや悪化・悪化」が30.4%（前期30.1%）で、D I値は▲20.2（前期▲18.1）となり、2.1ポイント悪化した。

業種別のD I値では、前期と比べ建設業、小売業、交通運輸業でほぼ横ばい、製造業、卸売業、飲食業、サービス業、その他の業種で悪化が見られ、製造業▲18.6、建設業▲20.6、卸売業▲16.6、小売業▲33.5、飲食業▲19.1、サービス業▲16.9、交通運輸業▲12.3、その他の業種▲6.8となった。

地区別のD I値では、前期と比べ中勢地区と伊賀地区でほぼ横ばい、北勢地区、南勢地区、東紀州地区で悪化しており、北勢地区▲19.4、中勢地区▲17.9、南勢地区▲15.4、伊賀地区▲23.2、東紀州地区▲37.2となった。

図-8 販売条件



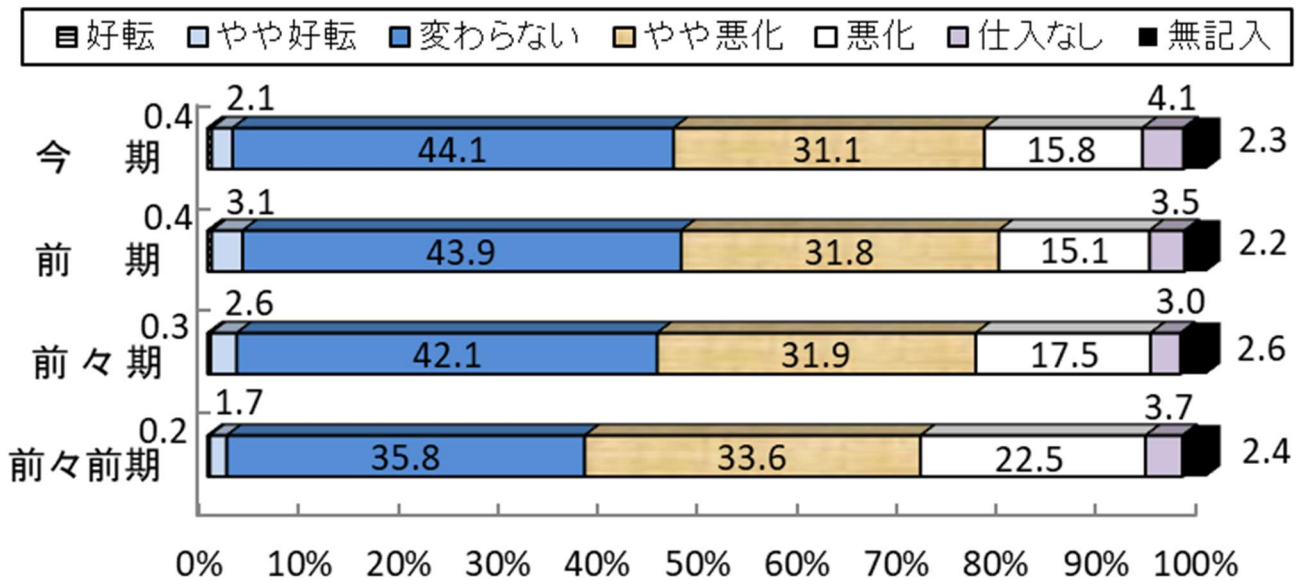
## 6. 仕入条件

全体では、「好転・やや好転」が2.5%（前期3.5%）、「やや悪化・悪化」が46.9%（前期46.9%）で、D I値は▲44.4（前期▲43.4）となり、1.0ポイント悪化となった。

業種別のD I値では、前期と比べ卸売業、小売業、その他の業種で改善しており、製造業、建設業でほぼ横ばい、飲食業、サービス業、交通運輸業で悪化となり、製造業▲47.7、建設業▲45.5、卸売業▲39.1、小売業▲47.2、飲食業▲67.6、サービス業▲38.1、交通運輸業▲35.0、その他の業種▲18.2となった。

地区別のD I値では、前期と比べ中勢地区と伊賀地区で改善、一方で北勢地区、南勢地区、東紀州地区で悪化しており、北勢地区▲43.5、中勢地区▲42.2、南勢地区▲46.8、伊賀地区▲44.2、東紀州地区▲51.1となった。

図-9 仕入条件



## 7. 設備投資

全体では、設備投資を行った企業は484社、17.9%（前期496社、18.6%）、設備投資を予定している企業は368社、13.6%（前期385社、14.4%）であった。

業種別では、交通運輸業が36.8%、飲食業が22.5%、建設業が21.6%と、他の業種よりも設備投資を行った割合が高かった。設備投資の予定については、交通運輸業が24.6%と最も高い割合であった。

地区別では、設備投資を行った企業は、北勢地区が実績19.3%と最も高く、また設備投資を予定している企業についても北勢地区が15.0%と最も高い割合であった。

図-10 設備投資の実績

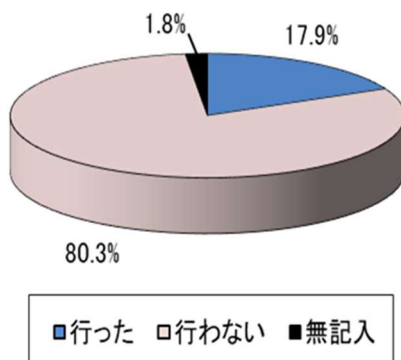
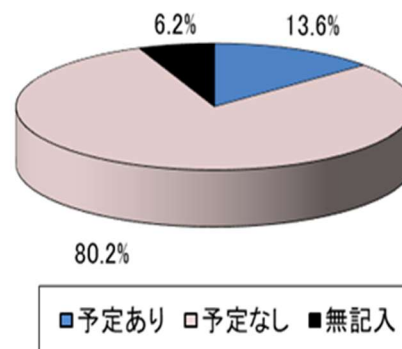


図-11 設備投資の予定



## 8. 資金繰り状況と今後の見通し

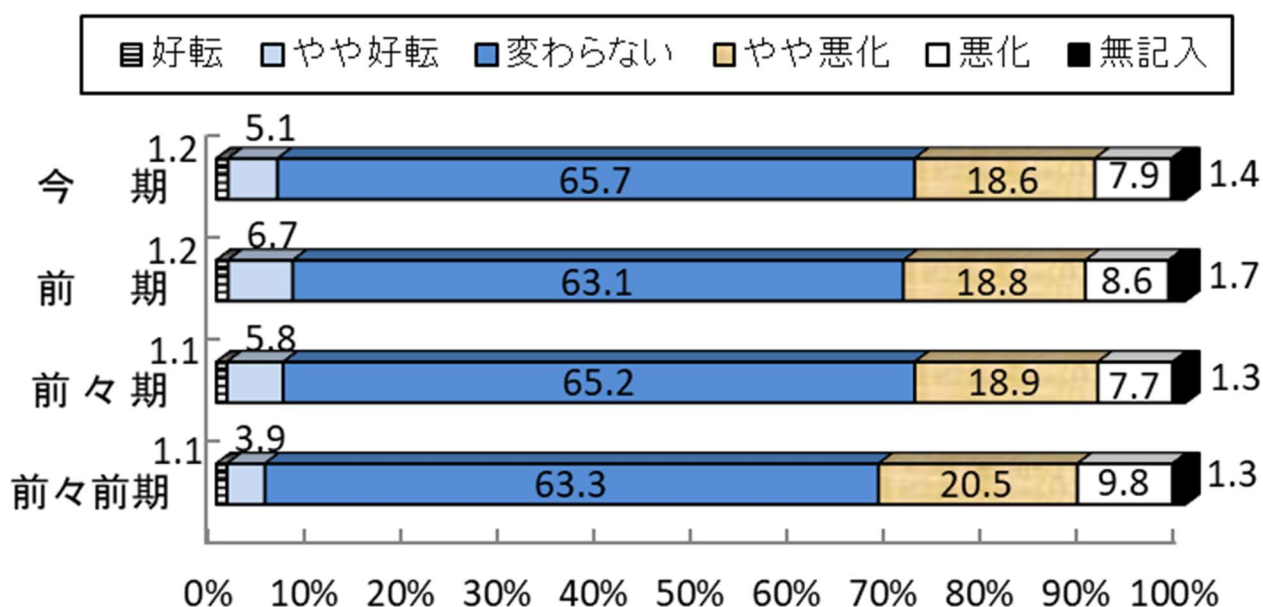
### a) 現状

全体では「好転・やや好転」が6.3%（前期7.9%）、「悪化・やや悪化」は26.5%（前期27.4%）で、D I値は▲20.2（前期▲19.5）となり、前期と比べほぼ横ばいとなった。

業種別D I値では、建設業、小売業、交通運輸業で改善、サービス業でほぼ横ばい、製造業、卸売業、飲食業、その他の業種で悪化し、製造業▲26.5、建設業▲16.3、卸売業▲9.4、小売業▲26.3、飲食業▲28.3、サービス業▲17.5、交通運輸業▲21.0、その他の業種▲10.7となった。

地区別D I値では、前期と比べ、北勢地区、中勢地区、東紀州地区でほぼ横ばい、南勢地区、伊賀地区で悪化しており、北勢地区▲18.7、中勢地区▲17.3、南勢地区▲20.2、伊賀地区▲28.3、東紀州地区▲28.5となった。

図-12 資金繰りの現状



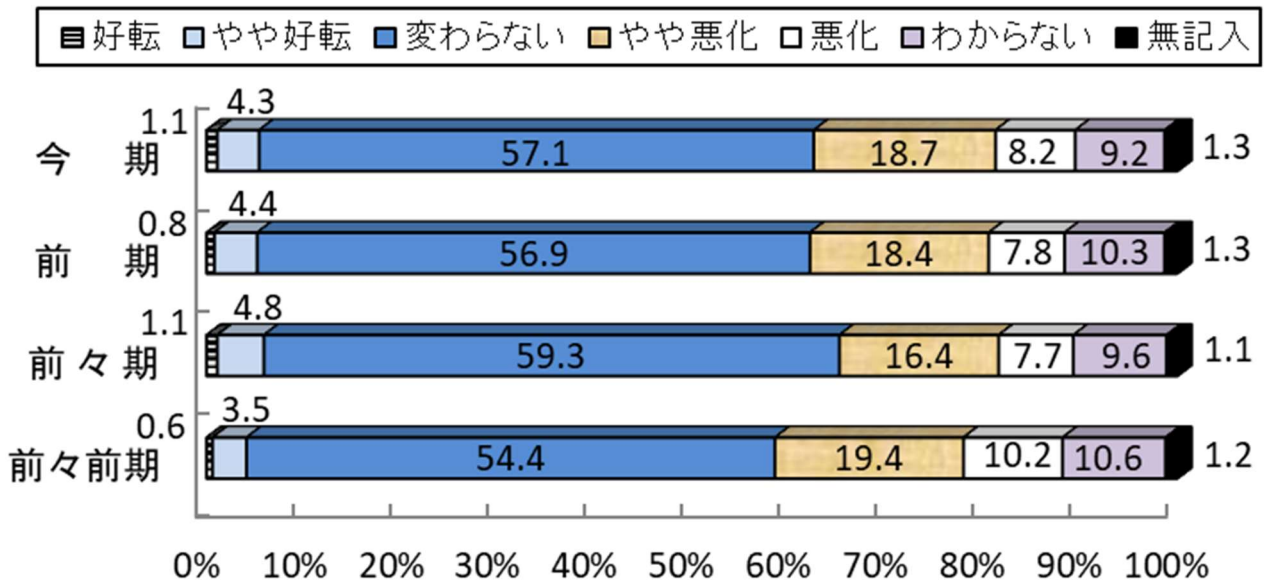
### b) 見通し

全体では「好転・やや好転」が5.4%（前期5.2%）、「悪化・やや悪化」は26.9%（前期26.2%）でD I値は▲21.5（現状D I値▲20.2）となり、1.3ポイントの悪化を見通している。

業種別D I値では、現状と比べ飲食業で改善の見通し、製造業、卸売業、サービス業、交通運輸業でほぼ横ばいの見通し、建設業、小売業、その他の業種で悪化の見通しとなり、製造業▲25.6、建設業▲17.4、卸売業▲10.2、小売業▲34.3、飲食業▲24.8、サービス業▲16.9、交通運輸業▲20.9、その他の業種▲13.6となった。

地区別のD I値では、現状と比べて悪化した伊賀地区を除く全ての地区でほぼ横ばいの見通しとなり、北勢地区▲19.6、中勢地区▲17.4、南勢地区▲20.8、伊賀地区▲34.9、東紀州地区▲28.5となった。

図-13 資金繰りの見通し



## 9. 借入状況

### a) 現状

回答企業 2,705 社のうち、借入を実施した企業は、997 社、36.9%（前期 1,106 社、41.4%）であった。

### b) 借入の難易度

全体では、借入を実施した企業のうち、「容易」が 13.4%（前期 13.4%）、「困難」は 10.2%（前期 11.8%）で、D I 値は 3.2（前期 1.6）となり、1.6 ポイント改善した。

業種別 D I 値では、建設業、卸売業、飲食業で改善、製造業、サービス業、交通運輸業でほぼ横ばい、小売業、その他の業種で悪化しており、製造業 0.0、建設業 9.7、卸売業 10.6、小売業▲7.4、飲食業▲6.7、サービス業 0.0、交通運輸業 12.1、その他の業種 4.0 となった。

図-14 借入の難易度

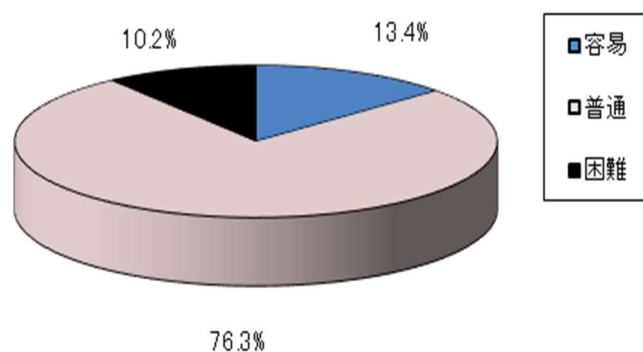
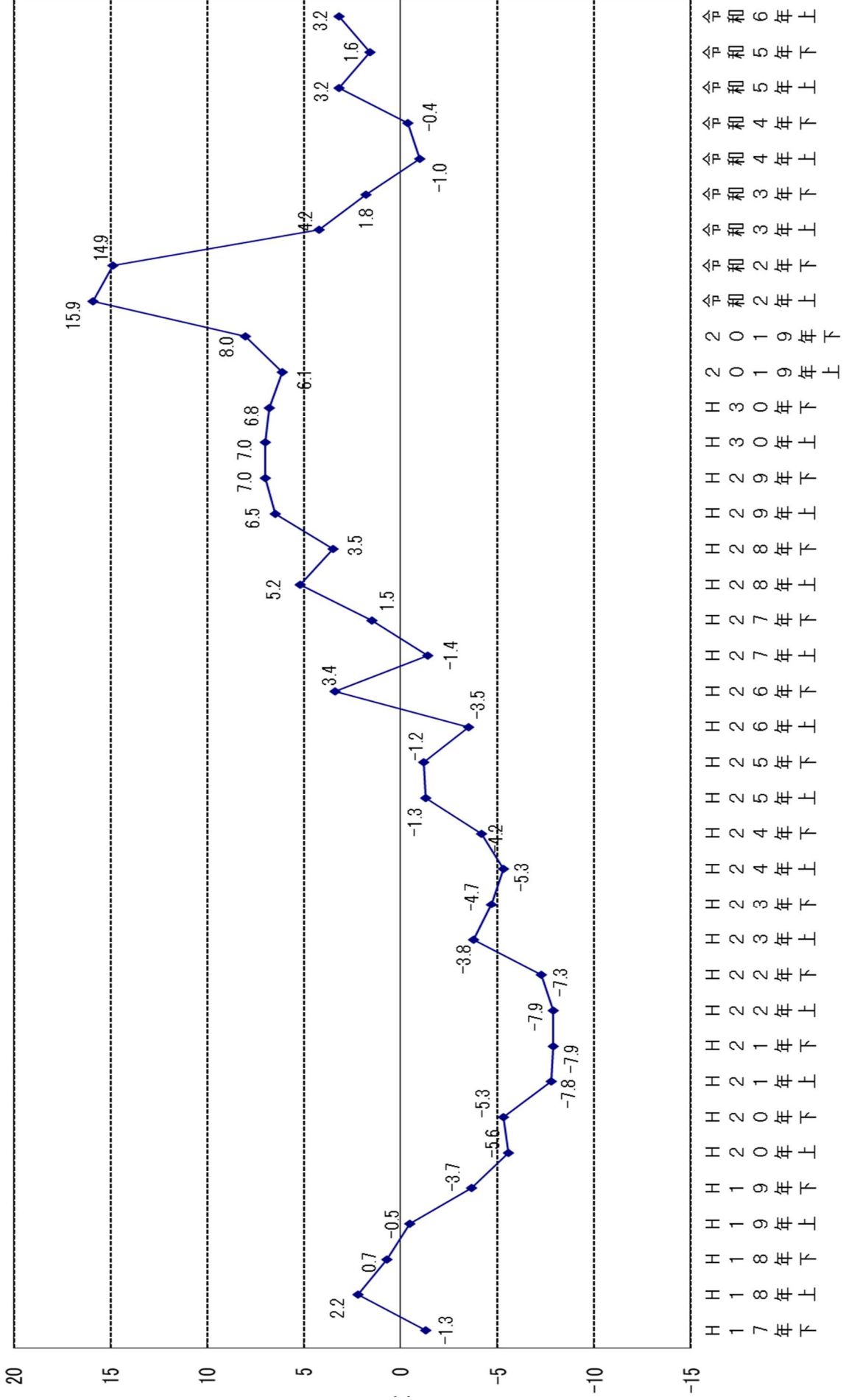




図-15 借入難易度DI値の推移



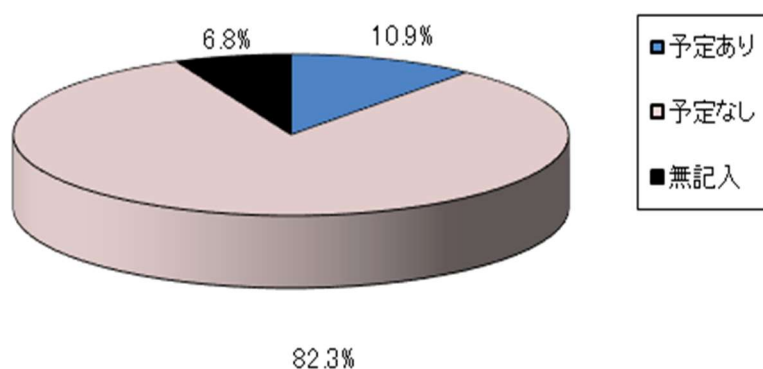
## 10. 借入予定

全体では、回答企業 2,705 社のうち、借入を予定している企業は 295 社、10.9%（前期 336 社 12.6%）であった。

業種別で見ると、借入を予定しているのは交通運輸業が 24.6%と最も高く、その他の業種が 5.3%と最も低かった。

地区別では、伊賀地区が 13.2%と最も高く、北勢地区 10.7%、中勢地区 12.9%、南勢地区 10.1%、東紀州地区 6.6%となった。

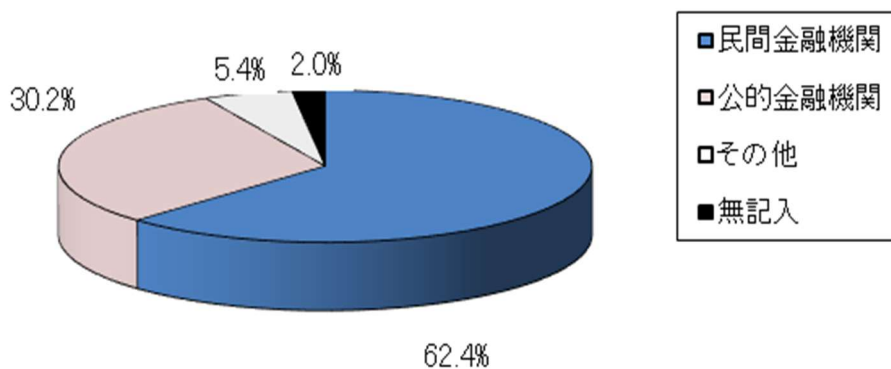
図-16 借入予定



## 11. 借入希望先

借入を予定している企業のうち、「民間金融機関」が 62.4%（前期 68.2%）、「公的金融機関」は 30.2%（前期 25.6%）となった。

図-17 借入希望先

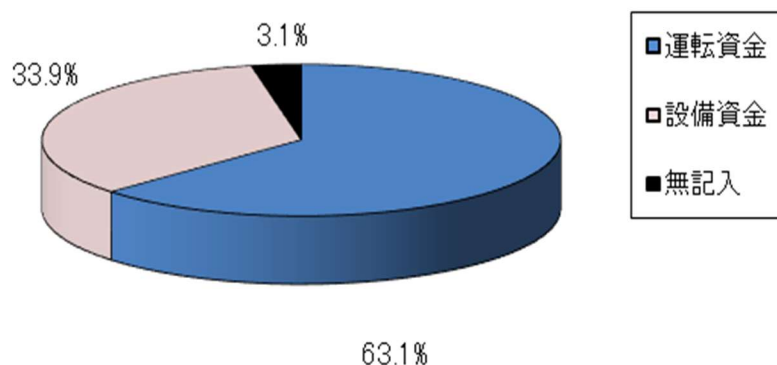


## 12. 借入金の使途予定

全体では、借入を予定している企業のうち、「運転資金」が63.1%（前期62.8%）に対し、「設備資金」は33.9%（前期32.7%）であった。

業種別では「運転資金」で卸売業が90.9%、「設備資金」で飲食業と交通運輸業が50.0%と、それぞれ最も高かった。

図-18 借入金の使途予定



## 13. 経営上の問題点

全体では、「売上・受注の停滞減少」が最も多く42.1%（前期41.2%）、次いで「原材料高及び不足」が34.3%（前期33.8%）、「人手不足」が27.5%（前期30.5%）となった。「売上・受注の停滞減少」は前期に引き続き、第1位となった。

業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業、その他の業種で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、飲食業で「原材料高及び不足」、建設業、交通運輸業で「人手不足」が最も多かった。

表-1 経営上の問題点(3項目以内複数回答)

区 分		第 1 位	第 2 位	第 3 位
業 種 別	製 造 業	売上・受注の停滞減少 (53.6)	原材料高及び不足 (40.7)	設備店舗の狭小老朽化 (25.3)
	建 設 業	人手不足 (45.8)	売上・受注の停滞減少 (37.0)	原材料高及び不足 (35.3)
	卸 売 業	売上・受注の停滞減少 (50.0)	原材料高及び不足 (31.9)	競争激化 (22.5)
	小 売 業	売上・受注の停滞減少 (60.1)	原材料高及び不足 (28.0)	設備店舗の狭小老朽化 競争激化 (19.2)
	飲 食 業	原材料高及び不足 (65.3)	人手不足 (28.9)	売上・受注の停滞減少 (26.0)
	サービス業	売上・受注の停滞減少 (30.7)	原材料高及び不足 (24.8)	設備店舗の狭小老朽化 (23.4)
	交通運輸業	人手不足 (40.4)	人件費以外の経費増加 (33.3)	原材料高及び不足 (31.6)
	そ の 他	売上・受注の停滞減少 (31.8)	人手不足 (22.7)	原材料高及び不足 (19.7)
地 区 別	北 勢	売上・受注の停滞減少 (39.6)	原材料高及び不足 (32.7)	人手不足 (29.7)
	中 勢	売上・受注の停滞減少 (47.9)	原材料高及び不足 (32.4)	人手不足 (29.3)
	南 勢	原材料高及び不足 (41.2)	売上・受注の停滞減少 (37.4)	人手不足 (26.1)
	伊 賀	売上・受注の停滞減少 (45.3)	原材料高及び不足 (33.7)	人手不足 (25.2)
	東 紀 州	売上・受注の停滞減少 (53.6)	原材料高及び不足 (38.8)	設備店舗の狭小老朽化 (20.9)
総 合		売上・受注の停滞減少 (42.1)	原材料高及び不足 (34.3)	人手不足 (27.5)

(単位：%)

## 県内商工会議所地区の景況

### 桑名商工会議所地区（調査対象 1,498 事業所 回答状況 408 事業所）

#### 現 状

令和6年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が14.7%（前期21.6%）、「やや悪い・悪い」が46.5%（前期42.1%）となった。D I値は▲31.8（前期▲20.5）となり、前期調査時に比べ11.3ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲42.1（前期▲29.7）・建設業が▲22.0（前期▲20.9）・卸売業が▲22.8（前期▲8.6）・小売業が▲55.8（前期▲37.1）・飲食業が▲22.2（前期0.0）・サービス業が▲18.9（前期▲4.4）・交通運輸業が▲14.3（前期▲83.3）・その他の業種が▲21.0（前期3.9）となった。

業種別では前期D I値と比較して交通運輸業だけ改善が見られた。製造業、建設業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業、その他の業種については悪化した。

#### 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が14.0%、「やや悪い・悪い」との回答は42.4%で、D I値は▲28.4となった。

現状のD I値（▲31.8）と比較すると、3.4ポイントの業況改善を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲35.1・建設業が▲15.4・卸売業が▲40.9・小売業が▲57.4・飲食業が▲16.7・サービス業が▲12.1・交通運輸業が▲14.3・その他の業種が▲26.4となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、製造業が7ポイント、建設業が6.6ポイント、飲食業が5.5ポイント、サービス業が6.8ポイント改善する見通しである。交通運輸業は0.0ポイントで横ばいとなった。また、卸売業が18.1ポイント、小売業1.6ポイント、その他の業種が5.4ポイント悪化を見通す結果となった。

#### 目立った変化等

##### 【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く44.1%（前期42.3%）、「原材料高及び不足」が31.4%（前期27.5%）、「人手不足」が26.7%（前期29.0%）と上位を占めた。

業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業、その他業種で「売上・受注の停滞減少」が最も多い結果となった。また、建設業では「人手不足」が最も多い結果となった。

##### 【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は71社17.4%（前期17.3%）であった。前期と比較して0.1ポイント増加した。

業種別では、製造業が13.2%（前期11.9%）、建設業が19.8%（前期16.3%）、卸売業が9.1%（前期21.7%）、小売業が11.5%（前期7.4%）、飲食業が33.3%（前期17.6%）、サービス業が21.6%（前期27.5%）、交通運輸業が42.9%（前期66.7%）、その他の業種が21.1%（前期23.1%）となった。

前期と比較し、飲食業が15.7ポイントと最も増加幅が大きく、交通運輸業が▲23.8ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。

## 四日市商工会議所地区（調査対象 2,325 事業所 回答状況 627 事業所）

### 現 状

令和6年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が18.8%（前期22.0%）、「やや悪い・悪い」が41.3%（前期37.2%）となった。D I値は▲22.5（前期▲15.2）となり、前期調査時に比べ7.3ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲30.2（前期▲17.9）、建設業が▲14.3（前期▲11.7）、卸売業が▲30.5（前期▲25.8）、小売業が▲51.8（前期▲29.9）、飲食業が10.0（前期▲4.0）、サービス業が▲22.6（前期▲13.2）、その他の業種が▲13.8（前期▲10.1）となった。

業種別では前期D I値と比較して飲食業が改善した。一方で、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業、その他の業種が悪化した。

### 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が14.4%、「やや悪い・悪い」との回答は36.2%、D I値は▲21.8となった。現状のD I値（▲22.5）と比較すると、ほぼ横ばいとなっている。

業種別のD I値を見ると製造業が▲27.7、建設業が▲18.2、卸売業が▲25.0、小売業が▲39.4、飲食業が▲10.0、サービス業が▲21.0、その他の業種が▲13.8となった。

業種別に現状のD I値と比較すると製造業が2.5ポイント、卸売業が5.5ポイント、小売業が12.4ポイント、サービス業が1.6ポイントの改善、一方で建設業が3.9ポイント、飲食業が20.0ポイントの悪化を見通している。

### 目立った変化等

#### 【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上受注の停滞減少」35.2%（前期37.2%）が最も多く、次いで「人手不足」が33.8%（前期36.3%）および「原材料高及び不足」33.2%（前期32.0%）が上位を占めた。

課題別では、「人手不足」については飲食業が50.0%（前期24.0%）と26ポイント増加し全業種の中で最も悪化した。「売上・受注の停滞減少」については飲食業で10.0%（前期24.0%）と14.0ポイント改善している。

#### 【設備投資】

設備投資を実施した企業は117社18.7%（前期18.4%）となり、前期と比較してほぼ横ばいである。

業種別では、製造業が19.8%（前期22.7%）、建設業が17.7%（前期18.6%）、卸売業が8.3%（前期12.9%）、小売業が12.5%（前期11.7%）、飲食業が20.0%（前期20.0%）、サービス業が23.4%（前期18.6%）、その他の業種では19.4%（前期18.4%）となった。

前期と比較し、サービス業が4.8ポイント、その他業種が1.0ポイント増加し、製造業が2.9ポイント、卸売業が4.6ポイント減少した。一方で建設業、小売業、飲食業は、ほぼ横ばいであった。

## 鈴鹿商工会議所地区（調査対象 1,100 事業所 回答状況 339 事業所）

### 現 状

令和6年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が19.8%（前期17.3%）、「やや悪い・悪い」が42.2%（前期40.2%）となった。D I 値は▲22.4（前期▲22.9）となり、前期調査時に比べほぼ横ばい。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲37.7（前期▲28.3）・建設業が▲9.5（前期▲19.0）・卸売業が7.7（前期データなし）・小売業が▲41.9（前期▲47.2）・飲食業が▲20.0（前期▲20.8）・サービス業が▲15.3（前期▲14.8）・その他の業種が▲34.5（前期0.1）となった。

業種別では前期D I 値と比較して建設業と小売業、飲食業で改善が見られた。特に建設業では、マイナス幅の縮小がみられ改善が見られた。一方で、製造業が悪化した。

### 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が12.9%、「やや悪い・悪い」との回答は40.7%、D I 値は▲27.8となった。

現状のD I 値（▲22.4）と比較すると、5.4ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲41.6・建設業が▲18.3・卸売業が▲15.4・小売業が▲39.6・飲食業が▲40.0・サービス業が▲13.4・その他の業種が▲38.0となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、小売業が2.3ポイント、サービス業が1.9ポイント改善を見通す。一方で製造業が3.9ポイント、建設業が8.8ポイント、卸売業が23.1ポイント、飲食業が20.0ポイント、その他の業種が3.5ポイント悪化を見通す結果となった。

### 目立った変化等

#### 【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、42.2%（前期42.4%）、「原材料高及び不足」が33.3%（前期41.7%）、「人手不足」が26.5%（前期30.6%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業において「売上・受注の停滞減少」が最も多く、飲食業では、「原材料高及び不足」、建設業では「人手不足」が最も多い結果となった。

#### 【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は77社22.7%（前期21.6%）であった。前期と比較して1.1ポイント増加した。業種別では、製造業が14.8%（前期20.0%）、建設業が35.7%（前期29.8%）、卸売業が7.7%（前期11.1%）、小売業が16.3%（前期19.4%）、飲食業が10.0%（前期12.5%）、サービス業が23.1%（前期23.4%）、その他の業種が17.2%（前期7.1%）となった。設備投資を実施した業種別では、建設業が41社と最も多かった。

## 亀山商工会議所地区（調査対象 466 事業所 回答状況 120 事業所）

### 現 状

令和6年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が23.4%（前期20.2%）、「やや悪い・悪い」が35.9%（前期36.2%）となった。D I 値は▲12.5（前期▲16.0）となり、前期調査時に比べ3.5ポイント改善する結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲46.6（前期▲10.5）・建設業が17.4（前期▲10.5）・卸売業が▲16.6（前期0.0）・小売業が▲10.6（前期▲19.0）・飲食業が42.9（前期▲16.6）・サービス業が▲8.3（前期▲23.9）・交通運輸業が▲14.3（前期▲20.0）・その他の業種が▲50.0（前期0.0）となった。

業種別では前期D I 値と比較して建設業、小売業、飲食業、サービス業、交通運輸業で改善が見られた。一方で、製造業、卸売業、その他の業種が悪化した。

## 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が13.3%、「やや悪い・悪い」との回答は31.7%、D I 値は▲18.4となった。

現状のD I 値（▲12.5）と比較すると、5.9ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲40.0・建設業が8.7・卸売業が▲50.0・小売業が▲26.4・飲食業が14.3・サービス業が▲4.2・交通運輸業が▲28.6・その他の業種が▲50.0となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、製造業が6.6ポイント、サービス業が4.1ポイント改善を見通すほか、その他の業種がほぼ横ばいの見通しである。一方で建設業が8.7ポイント、卸売業が33.4ポイント、小売業が15.8ポイント、飲食業が28.6ポイント、交通運輸業が14.3ポイント悪化を見通す結果となった。

## 目立った変化等

### 【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が39.2%（前期34.0%）と最も多く、次いで「原材料高及び不足」が33.3%（前期31.9%）、「人手不足」が27.5%（前期34.0%）と上位を占めた。また、業種別では、製造業、卸売業、小売業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、飲食業、サービス業、交通運輸業で「原材料高及び不足」、建設業で「人手不足」が最も多い結果となった。

### 【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は24社 20.0%（前期24.5%）であった。前期と比較して4.5ポイント減少した。

業種別では、製造業が20.0%（前期5.3%）、建設業が17.4%（前期31.6%）、卸売業が33.3%（前期33.3%）、小売業が10.5%（前期19.0%）、飲食業が28.6%（前期16.7%）、サービス業が20.8%（前期28.6%）、交通運輸業が28.6%（前期80.0%）、その他の業種が25.0%（前期0.0%）となった。

前期と比較し、その他の業種が25.0ポイントと最も増加幅が大きく、交通運輸業が▲51.4ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。

## 津商工会議所地区（調査対象1,592事業所 回答状況140事業所）

### 現 状

令和6年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が21.5%（前期24.5%）、「やや悪い・悪い」が42.9%（前期41.2%）となった。D I 値は▲21.4（前期▲16.7）となり、前期調査時に比べ4.7ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲54.5（前期▲44.0）・建設業が▲2.2（前期▲7.0）・卸売業が▲



27.3（前期0.0）・小売業が▲57.2（前期▲42.1）・飲食業が▲0.1（前期16.7）・サービス業が▲33.3（前期▲3.3）・その他の業種が42.9（前期▲10.5）となった。

業種別では前期D I値と比較して建設業とその他の業種で改善が見られた。一方で、製造業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業で悪化した。

## 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が14.3%、「やや悪い・悪い」との回答は43.5%、D I値は▲29.2となった。

現状のD I値（▲21.4）と比較すると、7.8ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲31.8・建設業が▲22.8・卸売業が▲45.5・小売業が▲57.1・飲食業が16.7・サービス業が▲37.5・その他の業種が7.2となった。

業種別に現状のD I値と比較すると、製造業と飲食業で改善する見通しである。一方、小売業ではほぼ横ばい、建設業、卸売業、サービス業、その他の業種で悪化を見通す結果となった。

## 目立った変化等

### 【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」の46.4%（前期49.0%）が最も多く、「人手不足」が35.0%（前期35.8%）、「原材料高及び不足」が29.3%（前期28.4%）と前期同様に上位を占めた。業種別では、前期に引続き製造業・卸売業・小売業・サービス業が「売上・受注の停滞減少」、建設業・その他の業種には、「人手不足」、飲食業では前期に引き続き「原材料高及び不足」が最も多くなった。

### 【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は21社15.0%（前期17.2%）であった。前期と比較して2.2ポイント減少した。業種別では、建設業が7社（前期8社）と最も多かった。

## 松阪商工会議所地区（調査対象825事業所 回答状況280事業所）

### 現 状

令和6年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が15.0%（前期18.4%）、「やや悪い・悪い」が44.7%（前期43.9%）となった。D I値は▲29.7（前期▲25.5）となり、前期調査時に比べ4.2ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲46.8（前期▲35.5）・建設業が▲15.3（前期▲10.2）・卸売業が▲42.9（前期▲66.6）・小売業が▲49.9（前期▲43.1）・飲食業が▲21.4（前期27.2）・サービス業が▲9.0（前期▲17.0）・交通運輸業が▲20.0（前期▲7.1）となった。

業種別では前期D I値と比較して、卸売業・飲食業・サービス業で改善が見られた。一方で製造業、建設業、小売業、交通運輸業で悪化した。

## 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が7.2%、「やや悪い・悪い」との回答は41.8%、D I値は▲34.6となった。

現状のD I 値（▲29.7）と比較すると、4.9ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲46.9・建設業が▲23.1・卸売業が▲57.2・小売業が▲46.2・飲食業が▲50.0・サービス業が▲16.1・交通運輸業が▲26.7となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、小売業が3.7ポイント改善を見通すほか、製造業が横ばい、建設業が7.8ポイント、卸売業が14.3ポイント、飲食業が28.6ポイント、サービス業が7.1ポイント、交通業が6.7ポイント悪化を見通す結果となった。

## 目立った変化等

### 【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く48.6%（前期45.0%）、「原材料高及び不足」が33.9%（前期37.8%）、「人手不足」が26.4%（前期27.0%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業では「売上・受注の停滞減少」が、建設業、交通運輸業では「人材不足」が、飲食業では「原材料高及び不足」が最も多い結果となった。

### 【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は46社16.4%（前期14.4%）であった。前期と比較して2ポイント増加した。

業種別では、製造業が11.3%（前期19.4%）、建設業が21.5%（前期15.3%）、卸売業は実施なし（前期実施なし）、小売業が7.4%（前期5.2%）、飲食業が21.4%（9.1%）、サービス業が16.1%（前期13.6%）、交通運輸業が60%（前期50%）となった。

前期と比較し、飲食業が12.3ポイントと最も増加幅が大きく、製造業が▲8.1ポイントと最も減少幅が大きくなった。

## 伊勢商工会議所地区（調査対象 600 事業所 回答状況 236 事業所）

### 現 状

令和6年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が24.1%（前期30.4%）、「やや悪い・悪い」が34.7%（前期33.0%）となった。D I 値は▲10.6（前期▲2.6）となり、前期調査時に比べ8.0ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲19.6（前期▲2.1）・建設業が▲10.8（前期▲13.7）・卸売業が▲11.1（前期14.3）・小売業が▲41.5（前期▲18.8）・飲食業が18.0（前期8.3）・サービス業が▲5.9（前期1.9）・交通運輸業が50.0（前期0.0）となった。

業種別では前期D I 値と比較して建設業、飲食業、交通運輸業で改善が見られた。一方で製造業、卸売業、小売業、サービス業が悪化となった。

### 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が22.1%、「やや悪い・悪い」との回答は36.4%、D I 値は▲14.3となった。

現状のD I 値（▲10.6）と比較すると、3.7ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲27.7・建設業が▲23.9・卸売業が▲44.5・小売業が▲48.8・飲食業が12.9・サービス業が7.7・交通運輸業が50.0となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、サービス業が13.6ポイント改善を見通すほか、交通運輸業が0.0ポイントと現在の水準で推移する見通しである。一方で製造業は、▲8.1ポイント、建設業で▲13.1ポイント、卸売業で▲33.4ポイント、小売業で▲7.3ポイント、飲食業で▲5.1ポイント悪化を見通す結果となった。

## 目立った変化等

### 【経営課題】

経営上困っている問題について「原材料高及び不足」が最も多く、40.3%（前期38.8%）、「売上・受注の停滞減少」が36.4%（前期36.2%）、「人手不足」が27.1%（前期30.8%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業、建設業、飲食業、サービス業で「原材料高及び不足」が最も多く、卸売業、小売業で「売上・受注の停滞減少」、交通運輸業では「人件費以外の経費増加」が最も多かった。

### 【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は34社14.4%（前期21.0%）であった。前期と比較して6.6ポイント減少した。製造業が16.7%（前期17.4%）・建設業が15.2%（前期29.4%）・卸売業が0.0%（前期7.1%）・小売業が9.8%（前期20.8%）・飲食業が15.4%（前期25.0%）・サービス業が17.3%（前期25.0%）・交通運輸業が0.0%（前期0.0%）となり、サービス業が9社と最も多かった。

## 鳥羽商工会議所地区（調査対象250事業所 回答状況101事業所）

### 現 状

令和6年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が24.7%（前期33.3%）、「やや悪い・悪い」が50.5%（前期46.7%）となった。D I 値は▲25.8（前期▲13.4）となり前期調査時に比べ、12.4ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I 値を見ると、製造業が▲35.2（前期▲23.1）・建設業が▲42.9（前期▲27.3）・卸売業が▲0.1（前期33.3）・小売業が0.1（前期10.4）・飲食業が▲46.7（前期38.5）・サービス業が▲18.5（前期▲55.6）・交通運輸業が100.0（前期100.0）・その他の業種が0.0（前期0.0）となっている。

業種別では前期D I 値と比較して、サービス業でマイナス幅が縮小し改善が見られたが、交通運輸業、その他の業種では変化が見られなかった。製造業、建設業、卸売業、小売業、飲食業は悪化した。

### 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が15.9%、「やや悪い・悪い」との回答は44.6%、D I 値は▲28.7となった。

現状のD I 値（▲25.8）と比較すると、2.9ポイント悪化の見通しとなっている。

業種別のD I 値を見ると製造業が▲0.1・建設業が▲50.1・卸売業が▲33.3・小売業が▲25.0・飲食業が▲26.7・サービス業が▲37.0・交通運輸業が0.0・その他の業種が0.0となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、製造業が46.1ポイント、卸売業が0.1ポイント、小売業が27.6

ポイント、改善の見通しであるが、建設業、飲食業、サービス業、交通運輸業は悪化する見通しとなった。

## 目立った変化等

### 【経営課題】

経営上困っている問題について、「原材料高及び不足」が最も多く43.6%（前期34.4%）、「売上・受注の停滞減少」が39.6%（前期34.4%）、「設備・店舗の狭小老朽化」が35.6%（前期31.1%）と上位を占めた。業種別では製造業、飲食業、サービス業は「原材料高及び不足」が最も多い結果となったが、建設業は「売上・受注の停滞減少」が、小売業は「人件費以外の経費増加」が、卸売業は「人件費以外の経費増加」、「売上・受注の停滞減少」、「人件費以外の経費増加」、「競争激化」が、交通運輸業は「人手不足」、「人件費の増加」、「人材育成」並んで最も多い結果となった。「原材料高及び不足」の課題が表面化している状況が窺える。

### 【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は16社15.8%（前期25.6%）であった。前期と比較して9.8ポイント減少した。業種別では、製造業が11.8%（前期7.7%）、建設業が14.3%（前期18.2%）、卸売業が16.7%（前期33.3%）、小売業が6.3%（前期10.5%）、飲食業が33.3%（前期46.2%）、サービス業が18.5%（前期37.0%）、交通運輸業が0.0%（前期100.0%）、その他業種が0.0%（前期0.0%）となり、サービス業が5社と最も多かった。

## 上野商工会議所地区（調査対象996事業所 回答状況170事業所）

### 現 状

令和6年1～6月の業況は、「良い・やや良い」が14.7%（前期18.3%）、「やや悪い・悪い」が51.2%（前期46.6%）となった。D I値は▲36.5（前期▲28.3）となり、前期調査時に比べ8.2ポイント悪化する結果となった。

業種別のD I値を見ると、製造業が▲29.4（前期▲14.8）・建設業が▲39.5（前期▲24.2）・卸売業が▲66.6（前期▲33.3）・小売業が▲53.3（前期▲33.3）・飲食業が0.0（前期▲40.0）・サービス業が▲46.9（前期▲42.9）・交通運輸業が▲20.0（前期▲60.0）となった。

業種別では前期D I値と比較して、飲食業・交通運輸業で改善が見られた。一方で、製造業・建設業・卸売業・小売業・サービス業が悪化した。

### 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が7.1%、「やや悪い・悪い」との回答は51.2%、D I値は▲44.1となった。

現状のD I値（▲36.5）と比較すると、7.6ポイント業況の悪化を見通している。

業種別のD I値を見ると製造業が▲46.4・建設業が▲47.3・卸売業が▲83.3・小売業が▲43.3・飲食業が0.0・サービス業が▲40.6・交通運輸業が▲60.0となった。

業種別に現状のD I 値と比較すると、小売業が 10.0 ポイント、サービス業が 6.3 ポイント改善を見通すほか、飲食業が▲0.0 と現在の水準で推移する見通しである。一方で、製造業は 17.0 ポイント、建設業は 7.8 ポイント、卸売業は 16.7 ポイント、交通運輸業は 40.0 ポイントの悪化を見通す結果となった。

## 目立った変化等

### 【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く 46.5%（前期 43.5%）、「原材料高及び不足」が 34.7%（前期 35.1%）、「人手不足」が 27.1%（前期 29.0%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業・建設業・卸売業・小売業・サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、飲食業で「原材料高及び不足」が最も多く、交通運輸業で「人件費の増加」が最も多かった。

### 【設備投資】

設備投資について、設備投資を実施した企業は 27 社 15.9%（前期 23.7%）であった。前期と比較して 7.8 ポイント減少した。

業種別では、製造業が 14.6%（前期 20.6%）、建設業が 23.7%（前期 20.7%）、卸売業が 00.0%（前回 33.3%）小売業が 13.3%（前期 9.5%）、飲食業が 14.3%（前期 20.0%）、サービス業が 12.5%（前期 23.8%）、交通運輸業が 20.0%（前期 80.0%）となった。業種別では、建設業が 9 社と最も多かった。

## 名張商工会議所地区（調査対象 200 事業所 回答状況 88 事業所）

### 現 状

令和 6 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 19.3%（前期 18.3%）、「やや悪い・悪い」が 39.7%（前期 43.1%）となった。D I 値は▲20.4（前期▲24.8）となり、前期調査時に比べ 4.4 ポイント改善する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲28.6（前期▲15.4）・建設業が▲13.0（前期▲30.7）・卸売業が▲16.6（前期 16.6）・小売業が▲35.3（前期▲76.9）・飲食業が▲28.6（前期▲12.5）・サービス業が▲9.5（前期▲11.1）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して、業種により D I 値に幅はあるものの建設業、小売業、サービス業で改善が見られた。一方で、製造業、卸売業、飲食業については悪化した。

### 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 12.5%、「やや悪い・悪い」との回答は 46.6%、D I 値は▲34.1 となった。

現状の D I 値（▲20.4）と比較すると、▲13.7 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲50.0・建設業が▲26.1・卸売業が▲33.4・小売業が▲41.1・飲食業が▲42.9・サービス業が▲23.8 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、製造業が 21.4 ポイント、建設業が 13.1 ポイント、卸売業が 16.8 ポイント、小売業が 5.8 ポイント、飲食業が 14.3 ポイント、サービス業が 14.3 ポイント、すべての業種で悪化を見通す結果となった。

## 目立った変化等

### 【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、43.2%（前期 40.9%）、「原材料高及び不足」が 31.8%（前期 29.0%）、「人手不足」が 21.6%（前期 22.6%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業で「原材料高及び不足」、建設業・小売業・サービス業で「売上・受注の停滞減少」、卸売業で「人件費以外の経費増加」が最も多く、飲食業は同率で「売上・受注の停滞減少」「原材料高及び不足」が最も多い結果となった。

### 【設備投資】

設備投資については、実施した企業は 16 社 18.2%（前期 14.0%）であった。前期と比較して 4.2 ポイント増加した。業種別では建設業が 6 社と最も多かった。

業種別では、製造業が 28.6%（前期 23.1%）、建設業が 26.1%（前期 3.8%）、卸売業 0%（前期 0%）、小売業が 11.8%（前期 15.4%）、飲食業が 28.6%（前期 12.5%）、サービス業が 9.5%（前期 22.2%）となった。

## 尾鷲商工会議所地区（調査対象 121 事業所 回答状況 114 事業所）

### 現 状

令和 6 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 7.0%（前期 14.0%）、「やや悪い・悪い」が 56.2%（前期 44.6%）となった。D I 値は▲49.2（前期▲30.6）となり、前期調査時に比べ 18.6 ポイント悪化する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲41.9（前期▲23.4）・建設業が▲44.5（前期▲44.4）・卸売業が▲80.0（前期 0.0）・小売業が▲74.0（前期▲64.0）・飲食業が▲18.2（前期▲25.1）・サービス業が▲29.4（前期▲5.3）・交通運輸業が▲100.0（前期▲50.0）・その他の業種が▲60.0（前期 0.1）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して飲食業で 6.9 ポイントと大きく改善が見られ、建設業でほぼ横ばいの結果となった。一方で、製造業、卸売業、小売業、サービス業、交通運輸業、その他の業種が悪化した。

### 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 7.9%、「やや悪い・悪い」との回答は 48.2%、D I 値は▲40.3 となった。

現状の D I 値（▲49.2）と比較すると、8.9 ポイント業況の改善を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲19.4・建設業が▲38.8・卸売業が▲80.0・小売業が▲69.6・飲食業が▲27.3・サービス業が▲23.5・交通運輸業が▲50.0・その他の業種が▲80.0 となった。

業種別に現状の D I 値を比較すると、製造業が 22.5 ポイント、建設業が 5.7 ポイント、小売業が 4.4 ポイント、サービス業が 5.9 ポイント、交通運輸業が 50.0 ポイントの改善を見通すほか、卸売業がほぼ横ばいの結果となった。

一方、飲食業が▲9.1 ポイント、その他の業種が▲20.0 ポイントの悪化を見通す結果となった。

## 目立った変化等

### 【経営課題】

経営上困っている問題については、前期に引続き「売上・受注の停滞減少」が最も多く 56.1%（前期 43.0%）、「原材料高及び不足」が 40.4%（前期 41.3%）、「設備店舗の狭小老朽化」が 24.6%（前期 24.8%）、「人件費以外の経費増加」が 16.7%（前期 20.7%）、「人手不足」が 14.0%（前期 17.4%）と上位を占めた。

業種別では、「売上・受注の停滞減少」について、建設業では前期 2 位の 33.3%から今期 1 位の 50.0%へ増加した。

### 【設備投資】

設備投資について、実施した企業は 23 社 20.2%（前期 18 社 14.9%）であった。前期と比較して 5.3 ポイント増加した。

業種別では、製造業 22.6%（前期 13.3%）、建設業 16.7%（前期 11.1%）、卸売業 0.0%（前期 42.9%）、小売業 4.3%（前期 0.0%）、飲食業 27.3%（前期 16.7%）、サービス業 35.3%（前期 26.3%）、交通運輸業 25.0%（前期 0.0%）、その他の業種 40.0%（前期 33.3%）となり、前期と比較し、交通運輸業が 25.0 ポイントと最も増加幅が大きく、卸売業が▲42.9 ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。設備投資を実施した企業数では、製造業が 7 社と最も多かった。

## 熊野商工会議所地区（調査対象 200 事業所 回答状況 82 事業所）

### 現 状

令和 6 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 10.9%（前期 9.1%）、「やや悪い・悪い」が 53.6%（前期 59.1%）となった。D I 値は▲42.7（前期▲50.0）となり、前期調査時に比べ 7.3 ポイント改善する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲42.8（前期▲54.6）・建設業が▲37.5（前期▲28.6）・卸売業が 0.0（前期 0.0）・小売業が▲81.9（前期▲75.1）・飲食業が▲44.4（前期▲28.6）・サービス業が▲22.8（前期▲31.2）・その他の業種が 33.3（前期 0.0）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して製造業・サービス業・その他の業種で改善が見られた。特に製造業については、マイナス幅の縮小がみられ改善が見られた。一方で、建設業・小売業・飲食業が悪化した。

### 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 6.1%、「やや悪い・悪い」との回答は 46.3%、D I 値は▲40.2 となった。

現状の D I 値（▲42.7）と比較すると、2.5 ポイント業況の改善を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲35.7・建設業が▲37.5・卸売業が▲25.0・小売業が▲77.3・飲食業が▲11.1・サービス業が▲18.2・その他の業種が▲66.6 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、飲食業が 33.3 ポイント改善を見通すほか、建設業が 0.0 と現在の水準で推移する見通しである。一方で卸売業は、25.0 ポイント悪化を見通す結果となった。

## 目立った変化等

### 【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く 50.0%（前期 60.6%）、「原材料高及び不足」が 36.6%（前期 27.3%）、「人件費以外の経費増加」が 23.2%（前期 15.2%）と上位を占めた。また、業種別では小売業について前期 4 位「原材料高及び不足」16.7%から今期 2 位 40.9%に変動した。売上の減少と原材料高の課題が変わらず継続している状況が窺える。

### 【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 12 社 14.6%（前期 12.1%）であった。前期と比較して 2.5 ポイント増加した。業種別では飲食業が 4 社と最も多かった。



# 三重の景況調査票

令和6年7月

※ 各設問に対して該当するものに○をして下さい。

## I. 企業の概要

### 1 業種(主たるもの1つ)

〈製造業〉	1.食料品	2.繊維品	3.機械製品	4.金属製品	5.木材木製品
	6.化学製品	7.土石窯業	8.印刷・出版	9.その他	
〈建設業〉	10.土木工事	11.建築工事	12.その他		
〈卸売業〉	13.食料品	14.繊維・身の回り品	15.その他		
〈小売業〉	16.繊維・身の回り品	17.食料品	18.家具・日用品	19.電気製品	20.その他
〈飲食業〉	21.飲食店				
〈サービス業〉	22.美容・理容	23.ホテル・旅館	24.自動車整備	25.不動産	26.その他
〈交通運輸業〉	27.交通運輸	〈その他〉	28.その他( )		

### 2 常時使用従業員数(会社の役員・家族従業員・パートを除く)

1.0～5人	2.6～20人	3.21～50人	4.51～100人	5.101人以上
--------	---------	----------	-----------	----------

## II. 企業の経営状況について

### 3 現状について…令和6年1～6月の業況は前年同期に比べてどうでしたか。

1.良い	2.やや良い	3.変わらない	4.やや悪い	5.悪い
------	--------	---------	--------	------

理由: \_\_\_\_\_

### 4 今後の見通しについて…令和6年7～12月の業況は前年同期に比べてどうなるとお考えですか。

1.良い	2.やや良い	3.変わらない	4.やや悪い	5.悪い	6.わからない
------	--------	---------	--------	------	---------

理由: \_\_\_\_\_

### 5 売上状況について…令和6年1～6月の売上は前年同期に比べてどうでしたか。

1.増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.減少
------	--------	---------	--------	------

### 6 売上の見通しについて…令和6年7～12月の売上は前年同期に比べてどうなるとお考えですか。

1.増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.減少	6.わからない
------	--------	---------	--------	------	---------

### 7 利益状況について…令和6年1～6月の利益は前年同期に比べてどうでしたか。

1.増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.減少
------	--------	---------	--------	------

### 8 販売条件(単価・決済方法)について…令和6年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1.好転	2.やや好転	3.変わらない	4.やや悪化	5.悪化
------	--------	---------	--------	------

### 9 仕入条件(単価・決済方法)について…令和6年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1.好転	2.やや好転	3.変わらない	4.やや悪化	5.悪化	6.仕入なし
------	--------	---------	--------	------	--------

### 10 設備投資について

令和6年1～6月の実績		令和6年7～12月の予定	
1.行った	2.行わない	1.予定あり	2.予定なし

### 11 資金繰りの現状について…令和6年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1.好転	2.やや好転	3.変わらない	4.やや悪化	5.悪化
------	--------	---------	--------	------

### 12 資金繰りの見通しについて…令和6年7～12月は前年同期に比べてどうなるとお考えですか。

1.好転	2.やや好転	3.変わらない	4.やや悪化	5.悪化	6.わからない
------	--------	---------	--------	------	---------

### 13 借入の現状について…令和6年1～6月はどうでしたか。(借入された方のみ)

1.容易	2.普通	3.困難
------	------	------

### 14 借入予定はありますか…(令和6年7～12月)

1.予定している	2.予定していない
----------	-----------

#### 14-① 借入先は、どこを希望されますか。(主たるもの一つ)

1.民間金融機関	2.公的金融機関	3.その他
----------	----------	-------

#### 14-② 資金使途は何を予定されていますか。(主たるもの一つ)

1.運転資金	2.設備資金
--------	--------

### 15 現在経営上で、困っている問題点は何ですか。あれば3つ以内で選んでください。

1.売上・受注の停滞減少	6.設備・店舗の狭小老朽化	11.競争激化
2.製品・商品単価の下落	7.売掛・債権回収の悪化	12.人材育成
3.人手不足	8.人件費の増加	13.立地条件の悪化
4.過剰人員	9.人件費以外の経費の増加	14.法的規制等(緩和を含む)
5.借入難	10.原材料高及び不足	15.税務・経理問題

### 16 その他困っている問題・御意見等があれば御記入ください。

特に人手不足、賃上げ対応、エネルギー価格や物価の高騰などによる影響、国・県などの支援策の活用状況や、今後行政へ希望する経済対策などがあれば御記入ください。

( \_\_\_\_\_ )

御協力ありがとうございました。